

製品のライフサイクルにおける環境配慮

農業機械や自動販売機などエンジンやモータを動力源とする製品では、ライフサイクルにおける温室効果ガス排出割合は、使用時が多くを占めています。クボタグループは製品使用時の環境負荷削減が重要であると考えています。

■ ミニ耕うん機などの電動化による環境配慮

近年、家庭菜園のブームや都市化の影響で、住宅地近郊で使いやすいミニ耕うん機などの需要が高まっています。

クボタグループは電動化を通じて、作業時の環境負荷削減に取り組んでいます。

□ 電動式ミニ耕うん機「ニューミディ菜レントシリーズ」

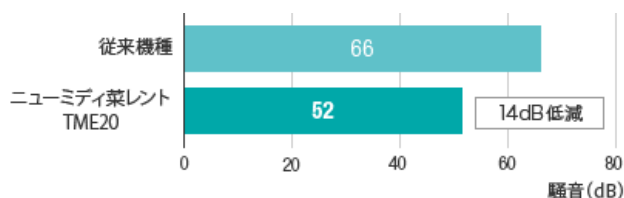
電動式ミニ耕うん機「ニューミディ菜レントシリーズ」は、クボタグループ初の電動農機です。電動化により排気ガスゼロ、CO₂排出量削減、騒音低減など、耕うん作業時の環境負荷削減に貢献しています。



ニューミディ菜レント TME20

《耕うん作業時の環境負荷削減》（従来機種(TMB250：ガソリンエンジン)と比較)

- 排気ガスゼロ
- CO₂排出量削減
- 騒音を約14dB低減※



※ 作業地点より7m離れた距離での騒音値を比較

▶ 「ニューミディ菜レント」の詳細についてはこちら [▶](#)

□ 自走式電動草刈機「しずかる」

自走式電動草刈機「しずかる」はクボタグループが業界で初めて電動化した自走式草刈機※です。電動化により排気ガスゼロ、CO₂排出量削減、騒音低減など、草刈作業時の環境負荷削減に貢献しています。

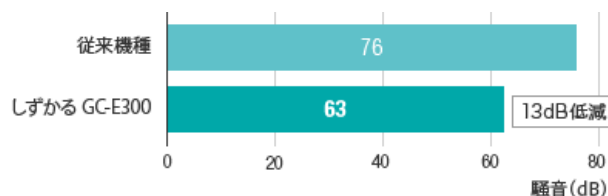
※ 自走式草刈機：自力走行により作業の負担を軽減した草刈機です



しずかる GC-E300

《草刈作業時の環境負荷削減》（従来機種(GC-K300D：ガソリンエンジン)と比較)

- 排気ガスゼロ
- CO₂排出量削減
- 騒音を約13dB低減※



※ 作業地点より10m離れた距離での騒音値を比較

▶ 「しずかる」の詳細についてはこちら [▶](#)

■ 電動農機で兼用可能なバッテリー

クボタグループの電動農機は家庭用の電源で手軽に充電できるカセット式バッテリーを採用しています。このバッテリーはミニ耕うん機「ニューメディア菜レントシリーズ」と草刈機「しずかるGC-E300」の双方で兼用可能となっており、省資源に貢献しています。

家庭用の電源で手軽に充電できるカセット式バッテリーで、簡単充電・簡単装着へ



ニューメディア菜レントシリーズ (TME20)



しずかるGC-E300